



2017年の福岡・大分豪雨で被災したJR日田彦山線の駅に七夕飾りが置かれ、大明小中学校の児童、生徒が短冊に願い事を書いています。

BRTひこぼしライン JR「親しんで」

日田彦山線駅に七夕飾り



願い事を書いた短冊を結びつける児童ら「日田市の大明小中

【日田】2017年の福岡・大分豪雨で被災したJR日田彦山線の駅に、七夕飾りが置かれている。短冊には沿線の大明小中学校（白田市大肥本町）の児童、生徒が願い事を書いた。JR九州は来年の夏、不通区間をバス高速輸送システム（BRT）で復旧する予定。親しみを持ってもらうため、愛称の「ひこぼしライン」にちなんで協力を呼びかけた。

今田車日田駅長（39）らJ 4本を持ち込んだ。子ども社員が4日、学校にササ。たちは「毎日、雨が降りま

大明小中学生「大雨降りませんように」



大鶴駅の駅舎内に七夕飾りを設置するJR九州の社員



※□で囲んである駅は被災前の鉄道駅。★は朝・夕の運行

せんように」「ウクライナが平和になりますように」などと書いた短冊を結び付けた。

6年の菊竹瞬君（11）は「5年前は家族で避難した。大雨が降らず、暑過ぎない夏になってほしい」。5年の飯塚結人君（10）は「豪雨の時、家に帰れずにごも園の園長先生の家に泊まった。怖くなかったけど今も覚えている」と振り返った。

七夕飾りは大鶴、夜明、日田の各駅に社員が設置した19日まで展示している。今田駅長は「BRTでの復旧にご理解いただいた地元の方々に感謝する。より多くの住民に利用してもらえよう、今後もPR活動をしたい」と話した。

ひこぼしラインは、代行バスが走っている添田（福岡県添田町）―日田間の約40キロで運行する。JR九州は6月30日、住民アンケートなどを基に37のバス停を設けると発表。乗降できる場所は被災前の鉄道と比べて25カ所増える。タイヤや運賃は決まっていない。

（刀根徹朗）

2022年7月6日付
大分合同新聞 13面

- ①「七夕」は何月何日のことですか。 () 月 () 日
- ②JR 日田彦山線の不通区間はこれまでの鉄道に代わって、どのような輸送手段になる予定ですか。
- ③新しい輸送システムに変わること、これまでの鉄道と違うところはどこですか。文中から探しましょう。
.....
- ④七夕飾りの短冊に、あなたはどのような願い事を書きますか。
.....